

■日時 平成30年8月17日(金) ■天候 晴れ

福岡県立ひびき高等学校 対 キラリ高等学校 通信制

■球場 府中市民球場 第2試合 準々決勝 ■試合時間 1時間40分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:仲田 塁審:大和 鈴木(礼) 須田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5									計	安	失
キラリ・通	山静・静岡	0	3	0	0	2									5	4	1
ひびき	福岡	6	1	8	0	×									15	7	2

キラリ・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5						
1	二	捕	遊	柴田 拓真	3	0	0	0	三ゴ	三振			二ゴ					
2	遊		投	松本 侑禅	2	1	0	0	三振		四球		左失					
3	三			山本 将吾	3	1	1	0	左飛		遊ゴ		二安					
4	捕	投	捕	油井 奎弥	2	1	1	2		四球	三振		左3					
5	中			岸端 秀晴	2	1	0	0		四球	三振		一ゴ					
6	右			内田 徳人	2	1	0	0				遊失	三ゴ					
7	一			山本 海斗	2	0	0	0				中飛	投ゴ					
8	左			川邊 大也	2	0	1	0				投ゴ	中安					
9	投	二		粟本 滝太	2	0	1	1				投安		二ゴ				
				合計	20	5	4	3	残塁:3		併殺:0							
				備考														

■バッテリー

投手
粟本 滝太
油井 奎弥
松本 侑禅

捕手
油井 奎弥
柴田 拓真
油井 奎弥

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
粟本 滝太	2	0/3	13	3	0	6
油井 奎弥	1	0/3	13	3	1	7
松本 侑禅	2		7	1	1	1

ひびき		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	1	2	3	3	4					
1	二			高井 直輝	3	2	2	1	左2	左安		四球	捕邪					
2	遊			山本 龍斗	2	2	1	2	四球	三ゴ		四球	左2					
3	捕			古田 聖矢	2	3	1	2	四球		四球	左3	三ゴ					
4	投	一	右	富永 将吾	2	1	1	1	遊飛		四球	遊安	四球					
5	左			西田 豪太	2	2	1	2	左安		四球	四球	三ゴ					
6	一	中		光安 慶人	2	2	0	0	四球		三振	四球	三振					
7	右			今井 優太	0	1	0	2	四球		四球							
7	投			仁禮 智	1	1	1	2				中安						
8	中	右		岩藤 友嘉	2	1	0	0	遊失		遊飛	死球						
8			一	加藤 由樹	0	0	0	0										
9	三			松浦 玲音	3	0	0	1	投ゴ		遊ゴ	遊ゴ						
				合計	19	15	7	13	残塁:6		併殺:0							
				備考														

■バッテリー

投手
富永 将吾
仁禮 智

捕手
古田 聖矢

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
富永 将吾	2	10	1	2	2	0
仁禮 智	3	13	3	2	1	0

■戦評

府中球場で行われた準々決勝第2試合は、2回戦を中盤から終盤にかけて確実に得点を奪いコールドで制した福岡県立ひびき高校と終盤の競り合いをものにしたキラリ高校・通信制の対戦となった。試合は初回からひびき打線がキラリ先発粟本に襲いかかる。1死満塁から5番西田の2点適時安打で先制すると押出四球や敵失、1番高井の適時安打によりこの回計6点を奪う猛攻を見せる。序盤のうちに点差を縮めたいキラリは2回連続四球を足がかりに相手のミスと9番粟本の適時安打により3点を返す。引き離したいひびきは2回押出により1点を追加すると3回3番古田の2点適時二塁打やこの回から救援した途中出場の7番仁禮の2点適時安打などによりこの回打者11人で大量8点を追加し序盤3回で15-3と大差をつける。このままでは終われないキラリも5回二死から敵失と内野安打で好機を作ると4番油井が2点適時三塁打を放ったが後続が断たれ反撃もここまで。ひびきが5回コールド15-5で勝利し、準決勝に進出した。一方敗れたキラリは終始大量点差を追いかける展開となってしまい自慢の攻撃陣が本来の力を発揮できず無念の敗戦となった。